

ゆめみにゅーす



YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 47
発行日 平成30年2月2日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:23種149点
鳥類:25種98点
爬虫類:10種45点
(平成30年1月末日現在)



冬のインドクジャク

これまでホンシュウジカの隣にいたインドクジャクが、キジ舎に引っ越しました。1頭のホンシュウジカが蹄をケガしてしまい、治療のために個室が必要になり、隣の部屋を明け渡してもらうことにしたのです。引っ越しても特に変わりなく、皆元気にしています。

インドクジャクといえば上尾筒を開いている姿が印象的だからか、しばしば「開け！」と怒鳴っているお客さんを見かけますが(子どもだけでなく、大人も…)、人間に言われて開くものではありません。オスが求愛のために、メスにアピールするために開きます。雛を育てるのが暖かい季節であることを考えればわかりますが、インドクジャクの求愛の季節は春から夏。冬はメスにアピールするどころか、ちゃんと見ればわかりますが年が明けるくらいまではそもそも長い飾り羽が生えていません。

そんなインドクジャクですが、メスがオスを決める基準は姿ではなく声、という説も。それでも暖かくなればオスはちゃんと上尾筒を開きますので、しばしお待ちください。

第18回 春の動物園まつりのお知らせ

春の動物園まつりについてお知らせです。

- ・日時：平成30年3月25日(日)10時~15時
- ・キーパーズガイド、バックヤードツアー、ヤギの餌やり体験、シマウマの餌やり体験、野鳥クイズコーナー、竹細工コーナー、動物アートコーナー、コンサートコーナーなど
- ・当日は駐車場の利用はできません。公共交通機関の利用をお願いします。
- ・小雨決行(内容の変更がある可能性があります)



飼育の日イベントのお知らせ

しいく(419)の語呂合わせで、毎年4月19日は飼育の日です(平成21年に制定)。

そんな飼育の日になんだイベントのお知らせです。

- ・日時：平成30年4月22日(日)10時~15時30分
- ・動物園のなかなか聞けない話、キーパーズトーク、ヤギの餌やり体験、調理場見学ツアーなど
- ・小雨決行

*動物園まつりおよび飼育の日イベントは、高病原性鳥インフルエンザの発生状況によっては中止になる場合がありますので、ホームページ・公式フェイスブックなどでご確認ください。

お知らせ

野鳥における高病原性鳥インフルエンザが発生しており、園内の飼育鳥類を守るための防疫措置として、鳥類飼育エリアへの立ち入り制限をしております（終了時期未定）。さらに、園内へ進入する人間の靴底と車のタイヤの消毒にご協力をお願いしております。また、傷病鳥類の受け入れは一時中止しておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

★ピックアップ動物★

ミーアキャット 哺乳綱 ネコ目 マングース科

南アフリカ、アンゴラ、ナミビアのサバンナなどに生息しています。名前に「キャット」とつきますが、英名は Meerkat、つまり英語の猫（cat）とは関係ありません。

巣穴では両親とその子どもたちからなる群れで暮らします。群れの中で繁殖できるのは一番優位なオスとメス、つまり両親たちだけで、育った子どもたちは次に生まれた子どもたち（弟、妹）の世話の手伝いをするのが知られています。しばしば立ち上がっているのは、群れの誰かが交代で見張りをしていたり、日光浴をしていたりする場合です。雑食性で、野生では昆虫、小動物、植物、サソリなども食べるようです。

動物園のミーアキャットたちも、ちょっとした音などに驚いて巣穴代わりの巣箱の中や下にさっと隠れてしまいますが、根気強く見ていると警戒の鳴き声を上げながら皆で恐る恐る姿を見せてくれます。



獣医の日記

11月から1月にかけて激しくみられるマーコールの繁殖期の闘争がやっと落ち着いてきました。この時期、発情したメスが現れると、オスは餌も食べずに一日中メスを追いかけてまわります。生きるための最低限の欲求のなかで、性欲に完全に支配された状況だというのが見ていてよくわかります。

群れの中で強いオスだけが子孫を残す世界なので、弱いオスがやっぱりメスに近づけば、強いオスはものすごい勢いで追い払いにかかります。それ以前に、繁殖期の前半でそのシーズンの順位付けの闘争が行われ、一番になれなかったオスは後半おとなしくしていることが多くなります。今回、7歳のオス・エルがその前半戦でおそらく山から転落し、足を骨折してしまいました。人間でいえば踵から先の部分で、比較的直りやすい部位ではあるのですが、100kg近い体重を支えながら動き回られてはくっつくものもくっつきません。空気銃で麻酔を打ち、手作りの副木を骨折部分に当て、ギプス用の包帯でぐるぐる巻きにすること1か月半。実はマーコールの骨折の診察は初めてだったので、うまくいかドキドキしながら毎日診ていましたが、なんとか骨がくっついてくれました。もう少ししたら外に出られます。診療の機会は何度もありますが、何度目でもうまく治るとやっぱりうれしいものです。



★動物たちの主な移動(平成29年11月1日～平成30年1月31日)★

タイハクオウム(♂1搬出、埼玉県こども動物自然公園)、カイウサギ(♀1死亡)、マーコール(♂1死亡)、フンボルトペンギン(♂1搬入、千葉市動物公園)、コバタン(♂1死亡)